

2

国語の授業改善のための
チェックシート

① 指導上の工夫

- 授業のねらいや学習の目的を子どもたちに知らせて意欲付けをしている。
- 多様な意見が返ってくるような発問を工夫している。
- 文章の組立てや表現の仕方の工夫について考えさせている。
- 授業の中で、自分の思いや考えを書く機会を設定している。
- 授業の中で、話し合いなど、子ども同士の意見交換をする場面がある。
- 2つ以上の資料や文章を比べて読んだり、調べたりする授業を行っている。
- 一人で作品を読めるような学び方を指導し、時間を確保している。
- 日記や生活作文、他教科においても書く機会を日常的に取り入れている。
- 手紙を書いたり、記録文を書いたりするなど活動の時間を確保している。

② 評価の工夫

- 「読む力」や「書く力」に関するチェックシートを作成し、到達状況を把握している。
- 普段の単元別テストなどにおいて、記述式で解答する問題を設定している。
- 普段のノートをこまめにチェックし、子どもの考えや理解の状況を把握している。

③ 学校全体の指導

- 学校全体で「読むこと」「書くこと」などの学習に関する到達目標を定めている。
- 国語の授業において、習熟の程度に応じてきめ細かな指導をしている。
- 漢字の練習などに加えて、読んだり書いたりする家庭学習課題を出している。
- 小中学校が連携して一貫性のある指導計画を作成し、指導方法の工夫改善に努めている。

3

算数・数学の授業改善のための チェックシート

① 指導上の工夫

- 「基礎・基本」を全ての領域や表現力・思考力・活用する力も含めてとらえている。
- 教具や学習具を用意し、算数・数学的活動を取り入れている。
- 算数・数学のよさに気付かせるような指導を心がけている。
- 日常生活の中の事象と関連づけながら学習内容を取り扱っている。
- 授業の中で、児童・生徒が思考する時間を確保している。
- 授業の中で、児童・生徒の考えを発表し合い、比較検討する場面を設定している。
- 児童・生徒のノートに、自分の考えをかかせている。
- 1時間の授業のまとめは、児童・生徒に自分の言葉でまとめさせている。

② 評価の工夫

- 短いサイクルで、児童・生徒のノート等から学習状況を把握している。
- 計算や図形など領域別に、児童・生徒の到達状況を把握している。
- 単元テストや定期テストに、思考の過程や活用する力を問う問題を設定している。

③ 学校全体の指導

- 聞く・書く・話すなど基本的な学習態度の育成について学校全体で取り組んでいる。
- 年度の終わりには、学習の到達度を総合的に把握し、次年度の改善に役立てている。
- 少人数指導の中で習熟の程度に応じた指導を効果的に実施している。
- 家庭での学習習慣の定着に配慮して、課題（宿題）を出している。
- 指導方法の改善のため、校内研修に取り組んでいる。